

## 令和7年度全国学力・学習状況調査 東川町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:4校、児童数:85人 中学校数:1校、生徒数:65人

### ○ 教科に関する調査の状況

#### 【レーダーチャート】

- 教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率 ÷ 全国(公立)の平均正答率 × 100で算出)
- 中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

**小学校**

● 東川町内小学校  
○ 北海道(公立)  
× 全国(公立)

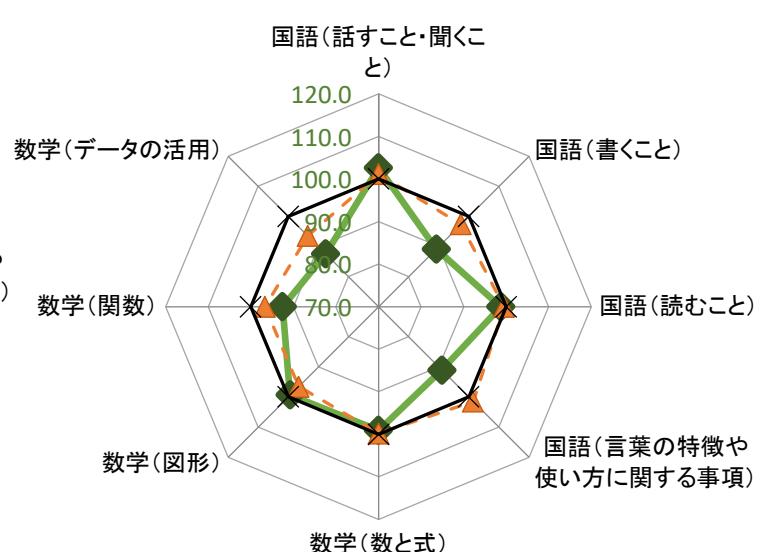
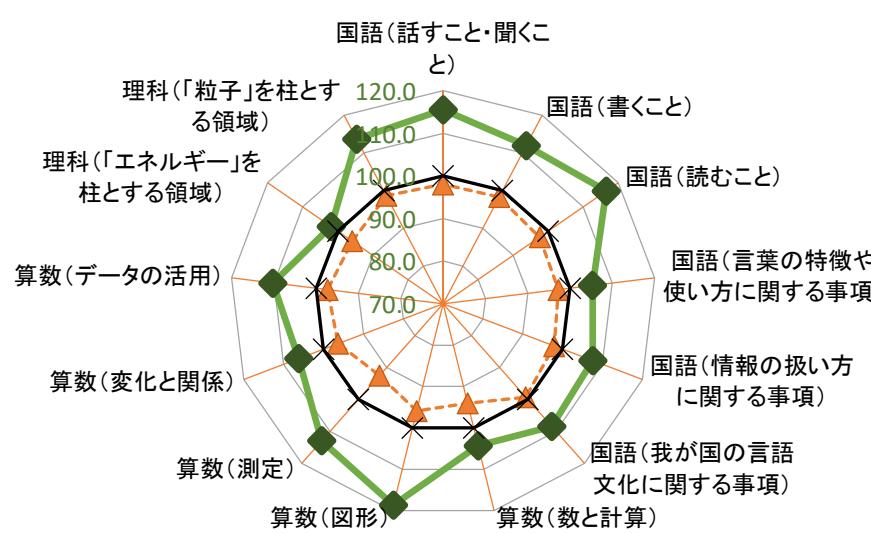
#### 【平均正答率・平均IRTスコア】

※中学校理科は平均IRTスコア

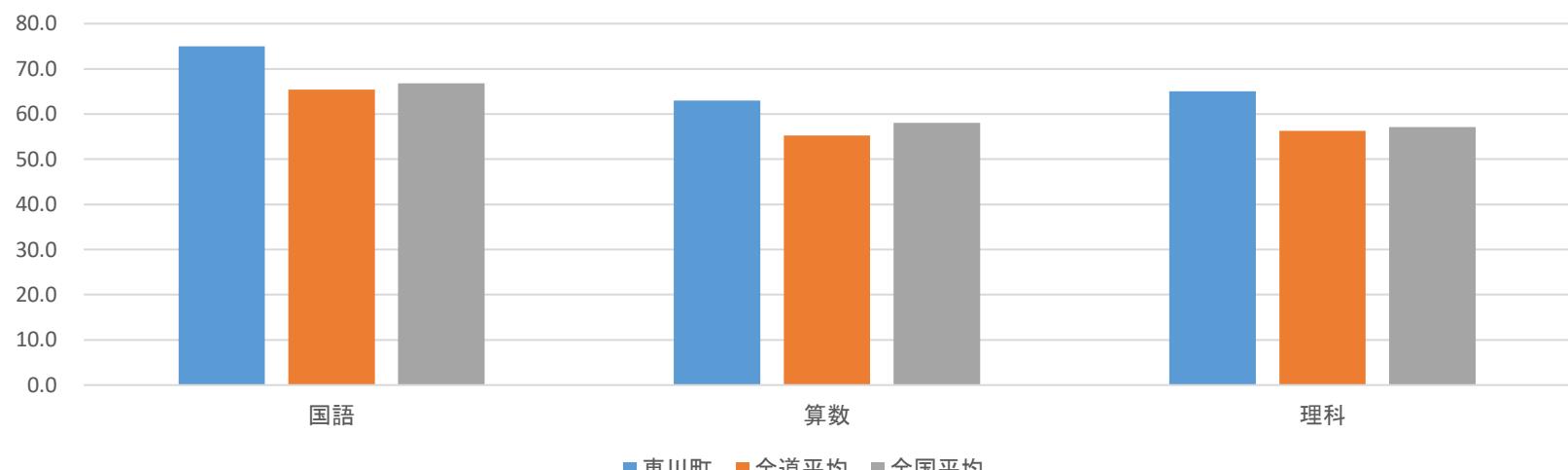
	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
東川町	75.0	63.0	65.0	52.0	46.0	502
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58.0	57.1	54.3	48.3	503

**中学校**

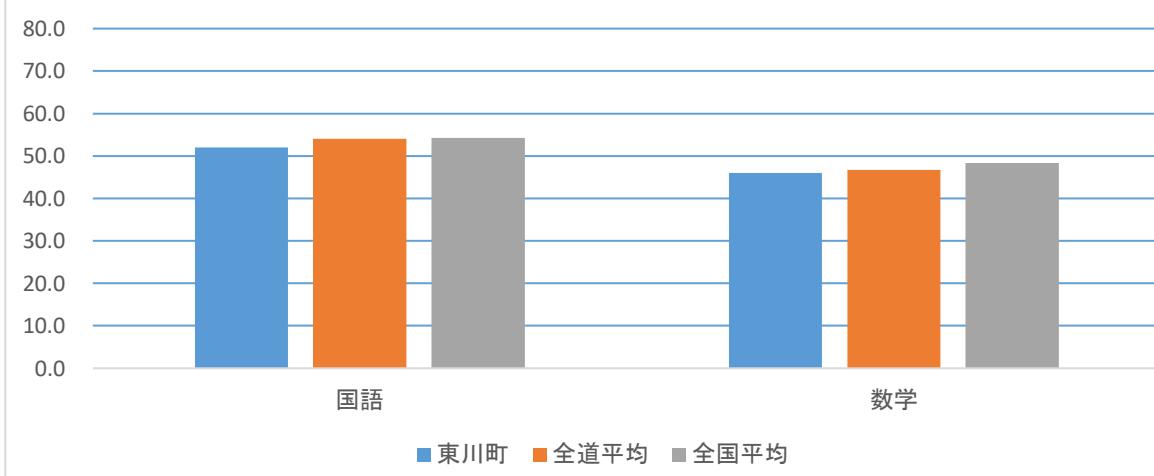
● 東川町内中学校  
○ 北海道(公立)  
× 全国(公立)



### 小学校学力調査結果



### 中学校学力調査結果

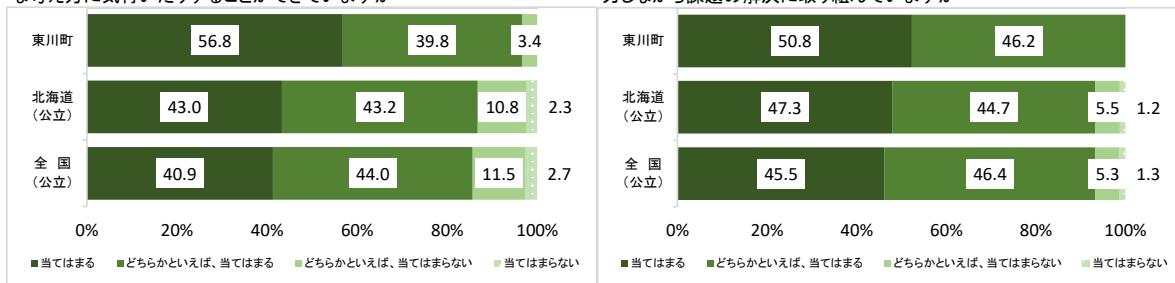


## ○児童生徒質問調査の状況

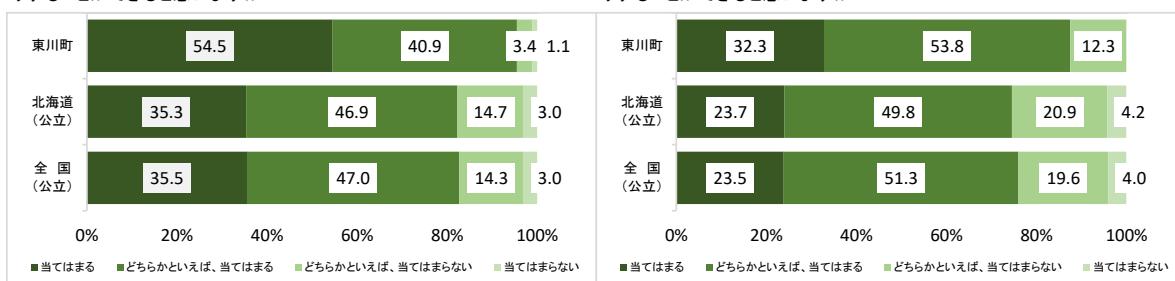
### 小学校

#### <児童質問>

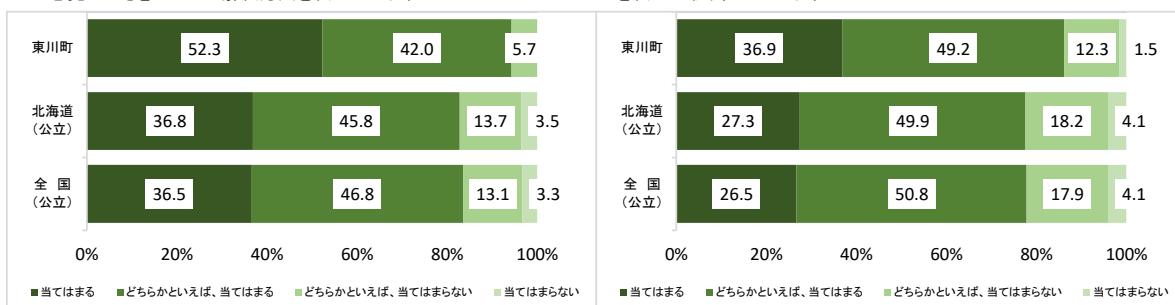
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか



授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか



あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



## ○今後の改善方策

### 小学校

全教科で全道、全国平均を大きく上回ったが、国語では、条件に合わせて書くことに課題があるのと、情報の読み解き、倫理的に整理し、説得力のある文章で表現する能力を強化していく。算数では、小数や分数のたし算に弱いことから、小数や分数の意味の理解を深める。図形の問題にも弱いことから、根拠をもとに考えるよう取り組む。

理科では、知識を持っているだけでなくそれを基に論理的に思考し、自分の言葉で適切に表現する能力を高めていく。

## ○中学校

国語では、「語彙力」や「書く」ことが弱い点を踏まえ、頻繁に短文を書く場面を設け、様々な条件下、意見、感想、批評などを書く取り組みを行う。

数学では、思考過程を大切にした対話的な授業を多く取り入れ、基本の用語や定理を定着させるとともに、論理的な記述を大切にする。

理科では、元素記号と化学式を混合していたり、元素記号自体が定着していない傾向があることから、基礎知識の定着のため、授業はじめに前時の振り返りを行い、授業で関連した内容が出た際には、生徒に振り返りを促すなどの取り組みを行う。